R8年度地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職研修会プログラム（案）

オンライン動画視聴（R9.1.1～1.31）

	講義テーマ	講義内容（案）	時間		講師	勤務先
	第1群　総論					
1	地域包括ケアと地域リハビリテーションの概念	①リハビリテーションの考え方 ②地域包括ケアと地域リハビリテーションの概念の比較 ③地域包括ケアを支える地域リハビリテーション活動（自立支援と支え合いづくり）	30分	医師・県リハ	松坂誠應　先生	長崎リハビリテーション病院
2	これからの地域支援体制のあり方		30分	長崎県	原田洋平　先生	長崎県長寿社会課
3	介護予防と保健事業の一体的運営	介護予防と保健事業の一体的実施についての概要と長崎県の取組について①骨折関連医療費の状況等②リハ専門職に期待される役割等	30分	長崎県	山口千尋　先生 別所陽平　先生	長崎県長寿社会課 長崎県国保・健康増進課
	第2群　疾患・状態像理解					
4	高次脳機能障害者の現状と課題	高次脳機能障害者の現状と課題そしてこれからの展望	30分・40分	言語聴覚士	鷹取智子　先生	長崎県高次脳支援センター
5	発達障害について	発達障害児（者）の現状と課題そしてこれからの展望	30分・40分	小児科医	柴田富美子　先生	長崎市ハートセンター
6	高齢者に多い疾患とリスク管理	①肺炎、心疾患、脳血管障害、熱中症等の概略と注意すべき症状や所見 ②リスク管理と緊急時の対応	30分・40分	医師	医師会推薦	医師会推薦依頼
7	認知症とMCI 早期発見のポイント	①認知症の理解（中核症状と行動・心理症状など） ②HDS-R等の検査結果と日常生活上の問題 ③早期発見のポイント	30分・40分	作業療法士	丸田道雄　先生	長崎大学生命医科学域
8	高齢者の難聴への対応	①高齢者の難聴の理解 ②難聴が生活に及ぼす影響と対応	30分・40分	言語聴覚士	言語聴覚士会推薦	言語聴覚士協会推薦
9	誤嚥性肺炎	①誤嚥性肺炎について（含む予防と対策）	20分	歯科医師	歯科医師会推薦	歯科医師会推薦依頼
	と口腔ケア	①口腔ケアの効果と方法	20分	歯科衛生士	歯科衛生士会推薦	歯科衛生士会推薦依頼
10	サルコペニアと早期発見のポイント	①フレイルとサルコペニア ②サルコペニアの診断（簡単なセルフチェックを含む）と早期発見のポイント ③サルコペニアの予防と対策	30分・40分	管理栄養士	西岡絵美　先生	長崎リハビリテーション病院
11	転倒予防と早期発見のポイント	①転倒の原因 ②転倒ハイリスク者の早期発見のポイント ③効果的な転倒予防プログラム（主に運動プログラム）	30分・40分	理学療法士	平瀬達哉　先生	神奈川県立保健福祉大学
	第3群　地域支援実践					
12	市町支援と介護予防事業の評価	①市町の現状と実際の支援の状況について	30分・40分	理学療法士	秀島敏和　先生	恵仁荘
13	通いの場支援における専門職の役割	①通いの場の役割（意義）と現状 ②専門職が担う役割	30分・40分	理学療法士・県リハ	飯野朋彦　先生	にしきの里
14	短期集中予防サービスにおける専門職の役割	①短期集中予防サービスの役割（意義）と現状 ②専門職が担う役割	30分・40分	理学療法士・県リハ	當麻俊久　先生	和仁会病院
15	地域づくりにつなげる地域ケア会議	①地域ケア会議の役割（意義） ②地域ケア会議の実際	30分・40分	地域包括支援センター	榊寿恵　先生	江平・山里地域包括支援センター
16	リハ・栄養・口腔の一体的支援	①現状と課題について	30分・40分	看護協会	熊木晴美　先生	長崎リハビリテーション病院
17	介護予防における多職種協働	①多職種協働の意義 ②多職種協働を進めるための課題と方策	30分・40分	理学療法士・県リハ	高倉潤一　先生	サンプライト愛宕PT
18	非専門職への技術移転	①現状の課題（課題解決のための技術移転） ②技術移転を行う際の問題と解決策など	30分・40分	作業療法士	久保宏記　先生	佐々町地域包括支援センター
19	災害支援	災害と福祉（災害派遣の経験から）	30分・40分	長崎JRAT	生田敏明　先生	長崎リハビリテーション病院

オンライン集合研修（R9.2.6 土）

20	地域ケア会議における専門職の役割		90分	理学療法士・県リハ	井口茂先生・県リハスタッフ	長崎大学生命医科学域・他

※　案のため、まだすべてが確定したものではありませんので、今後、テーマや講師の変更もあり得ます。